
MINATOビジョン策定に向けた 区民・団体アンケート報告書

Report on the Survey of Residents and Organizations on the
Development of the MINATO Vision

令和8（2026）年9月

港 区

港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちも真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つ子どもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和60年8月15日

港 区

目 次

第1章 アンケートの概要.....	2
(1) 名称.....	2
(2) 目的.....	2
(3) 対象と実施方法.....	2
(4) 実施期間.....	2
(5) 回答数.....	2
(6) 報告書における図表の見方.....	2
第2章 設問と集計結果.....	3
付録 アンケート用紙.....	19

第1章 アンケートの概要

(1) 名称

MINATOビジョン策定に向けた区民・団体アンケート

(2) 目的

現行の港区基本構想は平成14年に策定されたが、目標年次である10年ないし15年後を既に経過していることを踏まえて見直す必要がある。港区基本計画の計画期間の終期である令和9年4月から開始できるよう、これまで別冊であった港区基本構想と港区基本計画・港区実施計画を統合し、新たな総合計画としてMINATOビジョン（以下「ビジョン」という。）を策定する。

ビジョンの策定に当たり、2040年代の港区の将来像の実現に向け、区民等が考える区が特に力を入れるべき分野や区に取り組んでほしいことなどについて把握することで、ビジョン策定に向けた基礎資料とすることを目的として区民・団体アンケートを実施した。

(3) 対象と実施方法

区民等（港区在住・在勤・在学者）及び団体等（事業者、大学、NPO法人等）。

区内全域を対象とした広報みなと特別号のポスティング等により周知した。また、教育委員会事務局と連携し、区立小・中学校等にも周知を行った。

アンケート用紙での回答又は二次元コードからインターネット（Web）上の回答画面にて回答。

(4) 実施期間

令和8年4月1日（水）～5月15日（金）

(5) 回答数

1,855件（インターネット回答1,835件、紙回答20件）

(6) 報告書における図表の見方

ア 図表内の「N」は、設問の要回答者数である。

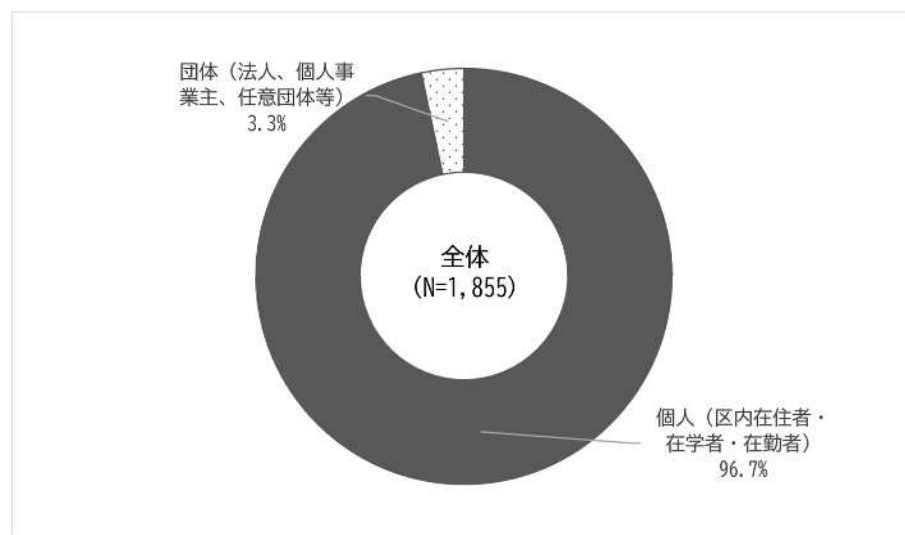
イ 集計は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。そのため比率の合計が100.0%とならない場合がある。

ウ 複数の選択肢を選べる設問では、その設問の要回答者数を分母として、選択肢ごとの回答者数の割合を表示している。

第2章 設問と集計結果

■Q1. アンケートにご回答いただいている立場を教えてください。

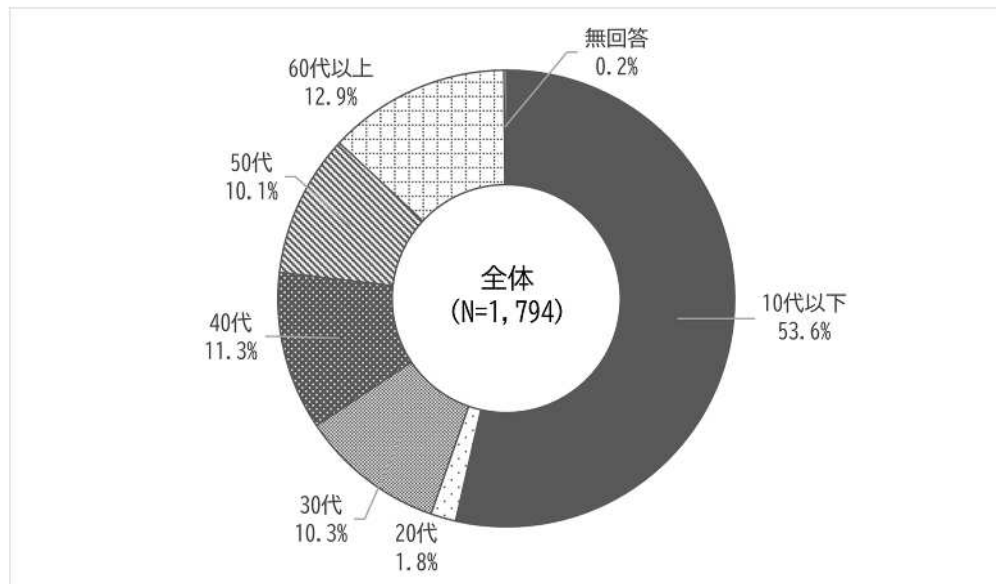
「個人」が96.7%、「団体」が3.3%であった。



(Q1で「個人」を選択した場合)

■ Q2. あなたの年齢を教えてください。

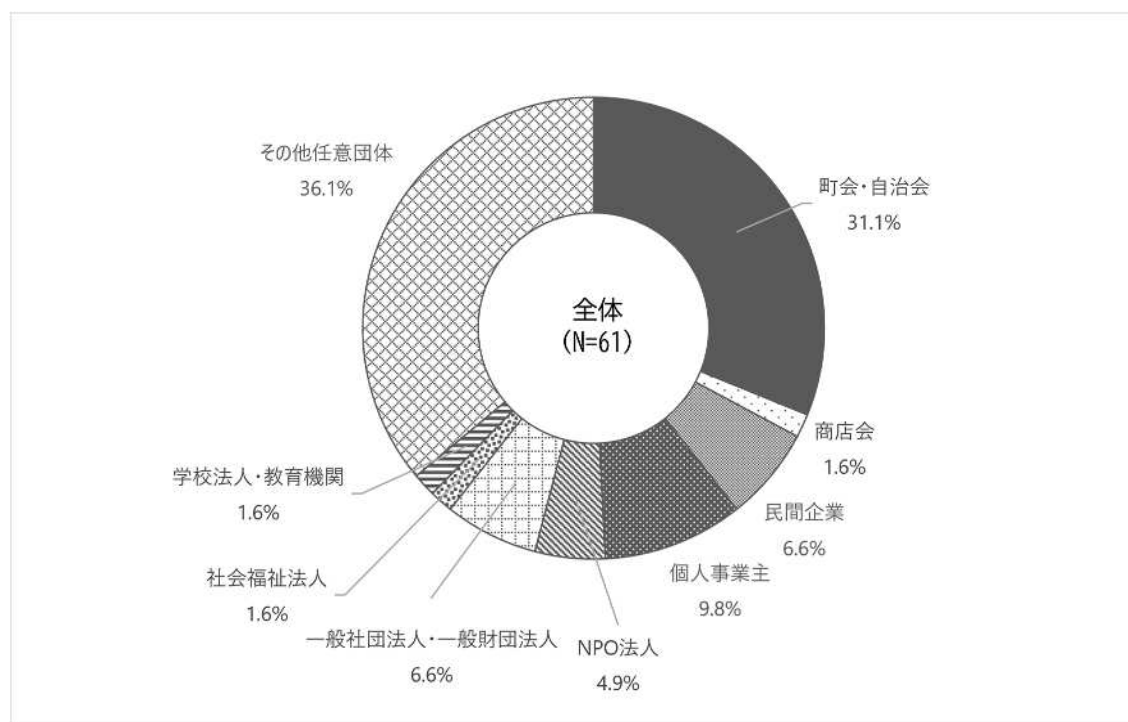
「10代以下」が最多で53.6%、次いで「60代以上」が12.9%、「40代」が11.3%と続いている。



(Q1で「団体」を選択した場合)

■Q2. 貴団体の種別を教えてください。

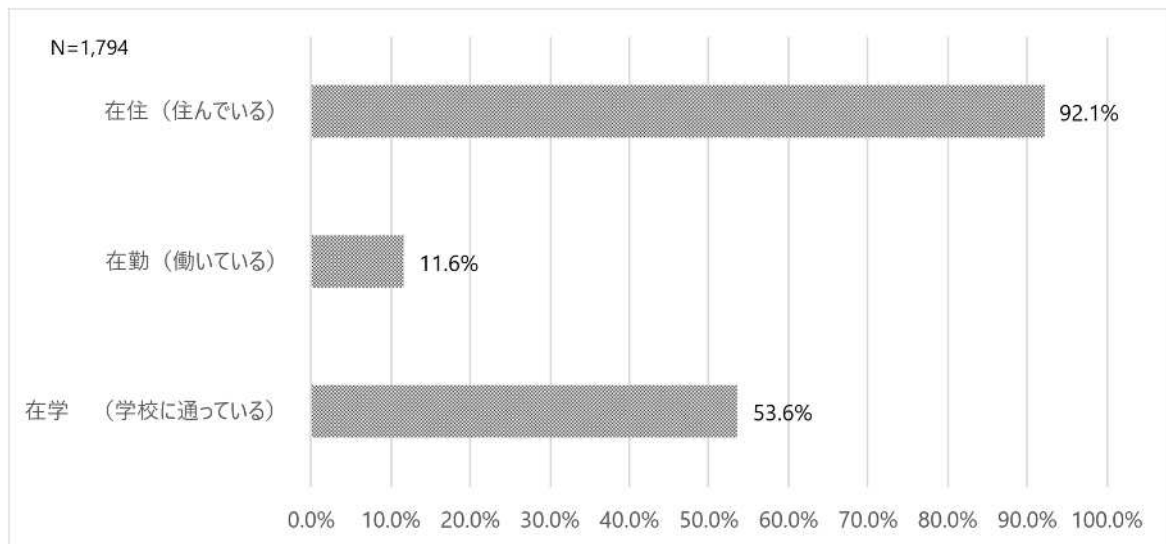
「その他任意団体」が最多で36.1%、次いで「町会・自治会」が31.1%と続いている。



（Q1で「個人」を選択した場合）

■Q3. あなたの現在の状況を教えてください。※複数選択可

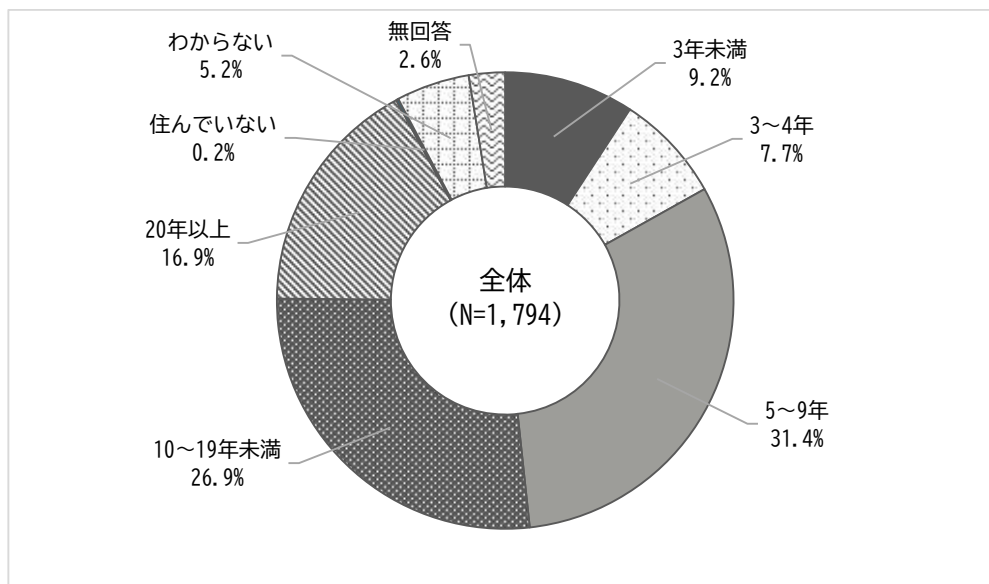
「在住（住んでいる）」が最多で92.1%、次いで「在学（学校に通っている）」が53.6%と続いている。



(Q3で「在住」を選択した場合)

■Q4. 港区にお住まいになって何年か教えてください。

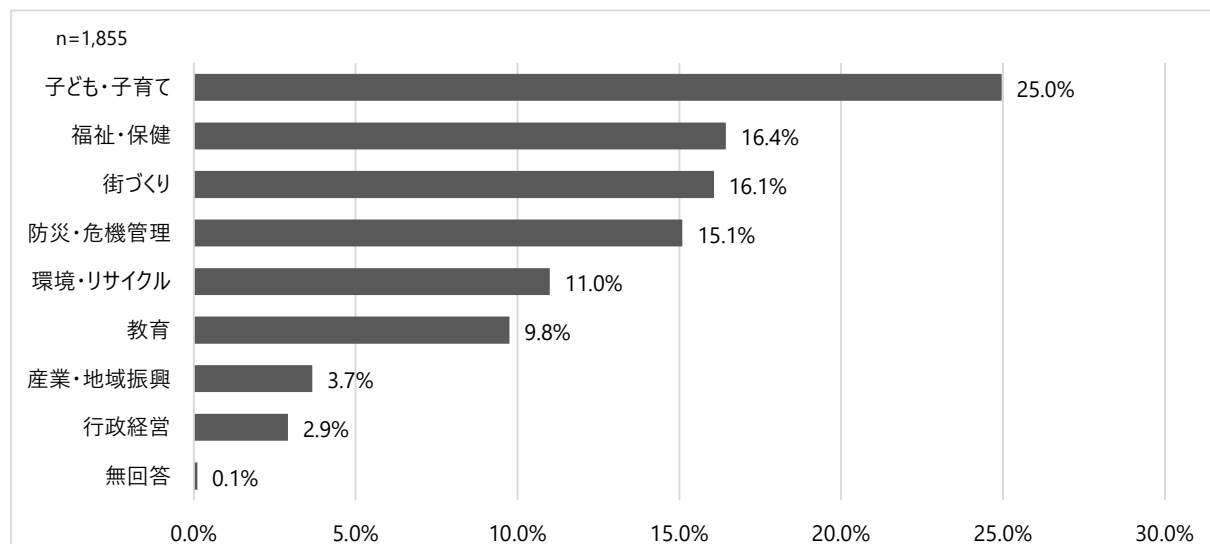
「5～9年」が最多で31.4%、次いで「10年～19年未満」が26.9%、「20年以上」が16.9%と続いている。



(回答者は、Q3で「在住（住んでいる）」と回答した者)

■Q5. 2040年代の将来像の実現に向け、今後、区が特に力を入れるべきだと考える分野を一つ教えてください。

「子ども・子育て」が最多で25.0%、次いで「福祉・保健」が16.4%、「街づくり」が16.1%と続いている。



■Q6. 2040 年代を見据え、区に取り組んでほしいことがあれば教えてください。

【主な回答（概要）】

子ども・子育て

〈子どもの成長環境に関すること〉

- 子どもが遊ぶ場所を増やしてほしい。（小学生）
- 保育や学校にかかる費用を負担し、子どもを生みやすく育てやすい街づくりをしてほしい。（20 歳代）
- 子どもたちが安心して遊べる場所を増やしてほしい。（30 歳代）
- 気候に左右されず利用できる遊び場・公共空間を増やしていただけると嬉しいです。（30 歳代）
- 子どもが安心して遊べる場所、子どもだけでも楽しめる室内遊技場。（40 歳代）
- フリースクールとは異なった不登校児や学生への居場所支援をしてほしい。（40 歳代）
- 2040 年には最高気温が 42～45 度となり猛暑が日常化することが想定されており、ますます暑熱対策が必要となってくるため、屋内施設としてのグランド整備が必要になってくる。（50 歳代）

〈子育て生活基盤に関すること〉

- 保育や学校にかかる費用を負担し、子どもを生みやすく育てやすい街づくりをしてほしい。（20 歳代）
- 産後支援のうち、産後ドゥーラはワンオペ育児の中でとても使いたかったのですが、数が少なく予約がなかなか取れない状況でした。もっと増やしてほしいです。また 1 歳以降も 3 歳くらいまで支援を継続してほしいです。（30 歳代）
- 病児保育を増やす。（30 歳代）
- 子育て支援はシッティングよりも作り置きや掃除などの家事への支援助成をさらに充実させてほしい。ただでさえ日中仕事で子どもと接することができないので、日々の食事の準備や、掃除こそ得意な方にお任せして親であるわたしたちは子どもにたくさん向き合いたい。（40 歳代）
- 仕事をしながら子育てがしやすい環境づくり。今は仕事をしている人にも子育てがしやすいようなサポートをいろいろ考えられているが、一歩先に行き、仕事をしながら子育てをしている人が国に貢献していると認められる、優遇されるレベルのインパクトがある対応を期待したい。それくらいしないと子どもは増えないと思う。（50 歳代）

〈空間形成・住環境に関すること〉

- ユースセンター設置の加速、子どもの居場所づくりを進めてほしい。特に17～20歳くらいの子どもの大人でもない接続的立場で家の居場所がない人も使えるようになってくれたら嬉しい。(10歳代)
- 保育園を増やしてほしい。ベビーカーの乗れるバスを増やしてほしい。(20歳代)
- 未就学児支援だけでなく、小学生以降の放課後の居場所や長期休暇支援、若者世代の居場所づくりも充実させてほしいです。(30歳代)
- 子どもの居場所、フリースクールや自由に出入りできる施設を増やしてほしい。(40歳代)
- 子どもたちの居場所を増やしてほしい。未就学、小学校低中学年、小学校中高学年、それぞれのステージにおいて安心して過ごせる居場所が足りない。(40歳代)
- 子どもたちのサードスペースにも取り組んでほしい！(50歳代)

福祉・保健

〈高齢者福祉基盤に関すること〉

- 地域でお年寄りが何年も生きられるようにもっと施設を作してほしい。(小学生)
- 仕事を休んで親の介護をしなくていいように、親を近くに住まわせるための補助をお願いします。(30歳代)
- 一人暮らしの高齢者などが安心して住み続けられる地域づくりをするために、小さい頃から継続して介護や認知症、高齢者に関する教育をし、誰もが助け合えるようにしてほしい。(40歳代)
- 港区は子育て世代も増えている区ではありますが、高齢者も間違いなく増える中、高齢者が少しでも出掛けやすい街であることが重要だと思います。(50歳代)
- アンケートに答える方の年齢にもよりますが、私の年齢では福祉や介護。介護をしてくれる方の育成や給与の見直し、高齢になっても賃貸住宅で安心して暮らし続けられる住環境を整備し、そのモデルとなる区を目指してほしい。(60歳代)
- 国全体が子育て世代を大切にすることは良いことだと思いますが、高齢者のことにももっと目を向けていただきたいです。高齢者向け区営住宅の増設、ラクっちゃんの増設(プログラムはいつも定員オーバーです)等、いろいろあると思います。(60歳代)

〈健康・医療・予防に関すること〉

- 病院を増やすなど、健康に関することをやってほしいです。（小学生）
- 感染症流行時に、早期に公費でワクチン接種ができるよう補助してほしい。（30 歳代）
- 子どもから高齢者まで各々の年代が住みやすく心身ともに健康でいられるように身体を動かすことや学べる色々なイベントや機関など増やしてほしいです。（40 歳代）
- 運動施設を増やしてほしい。田町のスポーツセンターほど大型でなくても、各地域で気軽に利用しやすい形でプールやジムがあれば、健康増進、医療費削減になると思います。（50 歳代）
- どんな人でも健康で働ける時間を長くするため、各医療機関やクリニックが疾患の早期発見に努めるよう強化してほしい。（50 歳代）
- 高齢者が増えると思うので、健康管理等、医者いらすの運動、リハビリ施設がほしい。（60 歳代）
- 休日診療の医院を増やしてほしい。（70 歳代以上）
- お口の健診や口腔がん検診の更なる充実を望みます。（その他任意団体）

〈障害・要配慮者支援に関すること〉

- バリアフリーをもっと増やしてほしい。（小学生）
- 障害児が放課後に過ごせる場所を増やしてほしい。（30 歳代）
- 相談員の研修強化と第三者による評価体制を整え、既存のカテゴリー診断に拘らず、全ての利用者の声を継続的に施策へ反映させてください（30 歳代）
- 障害児・障害者への支援が不足し過ぎで、親や家族への負担が増える一方です。また、ほとんど全ての障害児支援に所得制限があり、共働きせざるを得ない親を苦しめています。障害者・障害児への支援を充実させること、障害に無関係な所得などで制限せず、全ての障害者に等しく支援の手を差し伸べてほしいです。（40 歳代）
- 保護者の就労支援でない、真に子どもを対象とした施策。不登校、被虐待、障害などの子どもたちの声を丁寧に聞き取り、必要な支援を行える自治体になってほしい。（50 歳代）

街づくり

〈都市基盤・生活利便に関すること〉

- お年寄り向けの信号機や、バリアフリーの施設などをもっと増やしてほしい。（小学生）
- 自転車置き場や自転車通行道路を整備してほしい。自転車置き場も駅の近くであれば動線を良くしてほしい。田町駅東口の地下に自転車置き場を置いたあと、駅までエレベーターがなく、無駄な動きが多い。（20 歳代）

- 安全で広い歩道の整備。(30 歳代)
- スーパーを増やしてほしい。子どものものを買える施設がないので誘致してほしい。(30 歳代)
- 自転車通行レーンを増やしてほしい。(40 歳代)
- 老朽化した設備(特に歩道橋)の管理・修繕。(50 歳代)
- 歩道のバリアフリー化も推進していただきたいです。(60 歳代)
- 足が悪くなり、車椅子状態になってしまった今、バリアフリーな道路(段差)を目指してほしい。(60 歳代)
- スーパーを増やしてほしい。(70 歳代以上)
- 高齢者にも子どもにも安心して歩いてお散歩できるように 自転車が飛び交う歩道ではなく歩道を充実してほしいです。(70 歳代以上)

〈空間形成・住環境に関すること〉

- 自然は残しつつ、六本木ヒルズのような建物などを増やしてほしい(小学生)
- 公園を増やしてほしい。(20 歳代)
- 緑の多い公園を増やしてほしい。都会の中でもほっと一息つける憩いの場所があるといいなと思います。(30 歳代)
- 水辺を中心に、一息ついて留まれる場所を充実させてほしい。(30 歳代)
- 子どもも大人ものびのびと遊べる公園の拡充を切に願います。都心部は小さなスペースの公園ばかりで、再開発でもビルばかりが増えボール遊びをしたり、虫を捕まえたりできるのびのびした公園は限られます。(40 歳代)
- 住宅は「働く・学ぶ・医療を受ける場所」でもあります。2040 年代に向け、現代の多様な生活様式に対応した区立住宅運営の改善を望みます(40 歳代)
- 緑の多い公園等の増設・整備を進めてほしい。(50 歳代)
- 緑豊かな港区に。空き地を公園に。もっと緑を増やす、木を増やすことを望んでいます。(60 歳代)
- オフィス優先の地域開発方針を改め、住環境の整備・改善に力を入れるべきである。(60 歳代)

〈地域コミュニティ・共生に関すること〉

- 誰もが暮らしやすい街として、子どもや高齢者など特定の世代に限った施設や支援だけでなく、誰もが利用できる公共施設を開き、生活の支援を行ってほしい。(20 歳代)
- 芝浦、港南、お台場等のウォーターフロントを世界に誇れるレベルまで整備してほしい。(30 歳代)
- マンション、ビルが多く地域のつながりが希薄になっているため、参加型のイベントなどで、みなトク P A Y を利用しポイント制を導入し積極的に参加できるようにしてほしい。(70 歳代以上)

環境・リサイクル

〈資源循環・ごみ削減に関すること〉

- ポイ捨てをやめてほしい。(小学生)
- 子どもを連れて安心して歩けるように歩道に落ちている犬の糞をなくしてほしい。(30 歳代)
- 全ての公園ではなく、利用者が多い公園など限定的でも良いので、ごみ箱の設置を検討いただくと、区民の方・勤務者・観光客にとって利用しやすく、景観維持やマナー向上にもつながると感じます。(40 歳代)
- アメリカのように行政設置のごみ箱をたくさん増やしてほしい。(50 歳代)
- 3R活動が更に家庭の中で広がるよう、不要物を資源化するための回収ボックスの設置や、回収イベントの定期的な実施などの取組を充実させてほしい。(60 歳代)

〈緑化・自然共生に関すること〉

- 自然を増やしてほしい。(小学生)
- 緑を増やしてほしい。区の施設は充実しすぎているくらいあるので、グリーンのある港区ならではの先進的な場所があったら更に価値が上がるのではないと思います。(30 歳代)
- 夏場の暑さ対策として街中の緑を増やしてほしい。タワマンや高層ビルの多い区なので、ビルの壁面緑化などにも取り組んでほしい。(40 歳代)
- パリ市は面積の半分を緑地化することを目標にしている。このような大胆な緑地化を進める。(50 歳代)
- 伐採数に見合った数の樹木をその近隣に増やしていく、など細やかな樹木保護や増殖をしてもらいたいと感じます。(60 歳代)

〈脱炭素・生活環境改善に関すること〉

- 地球温暖化を防ぐのに頑張ってほしい。(小学生)
- 街を綺麗にしてほしい。(小学生)
- 深夜にバイクや車等の排気音がうるさいです。主に品川埠頭辺りに出沒しています。なるべく、そういった深夜の迷惑運転を規制してほしいです。(10 歳代)
- 2050 年カーボンニュートラルに向けて、再エネの更なる導入促進など脱炭素化の取組を一層推進してほしい。(30 歳代)
- 街を綺麗にするという活動はできていないと思います。あまりに路上喫煙ばかりで日々子どもが副流煙を吸って生活しています。(30 歳代)
- 航空機の騒音問題を解決してほしい。(50 歳代)
- 地球に優しい具体的な取組を港区が率先して行ってほしい。(50 歳代)

防災・危機管理

〈災害対応体制に関すること〉

- 突然災害が起きた時のために避難所を増やしてほしい。（小学生）
- 大災害に備えて、簡易避難所ではなくストレスを軽減して暮らせるプライバシーや衛生面を強化した避難所の設置を目指していただきたいです。（20 歳代）
- ハザードマップで危険と読み取れる地域に住んでいる人に対しての支援を進めてほしい。（30 歳代）
- シェルターを早く作ってほしい。地震の時の備えをもっとしてほしい。（40 歳代）
- 地震や富士山噴火など、いつ起こってもおかしくない自然災害に対する対策を拡充してほしい。被災した際にどんな対応をしてくれるのか、私は食事制限があるのでそうしたマイノリティにも対応してもらえるのが不安です。（50 歳代）
- ペットと一緒に避難できる場所を増やしてほしい。（60 歳代）
- 避難所を充実させてほしい。備蓄倉庫を拡大して非常食、防災備品を増やしてほしい。（町会・自治会）

〈都市防災インフラに関すること〉

- 内陸部も集中豪雨で冠水のリスクがあるので、雨水貯留槽を増やすなどしてほしい。（30 歳代）
- 狭い道の電柱を優先して地中化してほしい。（40 歳代）
- 雨量増大にも対応できる水道管の整備をしてほしい。（50 歳代）
- 不燃化が進んだ港区でも木造家屋密集地は少なからず点在する。防災においては弱点。今後、空き家が進行する恐れもあり区による買い上げ等、何らかの対策は必要。（60 歳代）
- 現存する建築物や構造物の安全性を調査し、災害時に崩壊、倒壊の可能性を少しでも減らしてほしい。（民間企業）

〈防犯・危機対応に関すること〉

- 犯罪が少なく、安心・安全に暮らせる港区にしてほしい。（小学生）
- バイクの音で眠れないため騒音対策をしてほしい。区を跨ぐ騒音についてもなんとか取り締まってほしい。（20 歳代）
- 港区は暮らしやすさ・支援は充実しているように思いますが、繁華街もあるので治安の良さ・清潔さには落ちると思います。栄えていても危険な地域では意味がないので取り組んでいただきたいです。（30 歳代）
- 区としてはグラウンディングを意識し、地に足を付けた、在住者、及び在勤在学の者たちにとって暮らしやすい「防犯」や「防災」を主軸とした施策でお願いしたい。（40 歳代）

産業・地域振興

〈地域商業・生活経済に関すること〉

- 個人店を支える仕組みを増やしてほしい。（40 歳代）
- 再開発により、多様な種類の店舗が減少している。商店街、個人商店を残すよう取り組んでもらいたい。（50 歳代）
- 子どもから大人まで、住んでいる人に必要なサービスやお店を誘導することに力を入れてほしいです。（50 歳代）
- 商店街を復活させてほしい。（60 歳代）
- 観光・地域資源と連動したにぎわい創出、観光施策や文化資源と連携した回遊性向上の取組。（商店会）

〈先端技術・国際機能に関すること〉

- A I をもっときょうかするようにがんばってほしい。（小学生）
- やってくれたら便利になるロボットをつくってほしい。（小学生）
- A I の導入を推進し、無駄の削減に取り組む。（50 歳代）
- 2040 年代を見据え、デジタル技術を活用したスマートシティ化を推進してほしいです。例えば、インフラの維持管理への A I 導入や、区内全域での高速通信環境の整備など、ハード面だけでなくソフト面と融合した効率的な都市インフラの構築を長期的な視点で取り組んでください。（50 歳代）
- グローバル化に努め、高輪ゲートウェイ開発に国際的な施設を作ってください。（60 歳代）

〈文化・地域活性に関すること〉

- 町がにぎやかなことをつづける。（小学生）
- おまつりをふやしてほしいです。（小学生）
- 町内会主催のお祭りが自分の小さい頃と変わらず、行われていることを本当に嬉しく思います。マンション住みの方が増え、今後の担い手に不安を感じます。こちらについても継続的な支援を頂けると嬉しいです。（30 歳代）
- 町内会やお祭りなど一定程度継続されているものを続けられるような支援を考えてほしい。（40 歳代）
- 地域での町興し。単一の町や地域ではなく横の繋がり作り。祭り、盆踊り等。（50 歳代）
- 日本の良いところは江戸に学び、地域やコミュニティの連携を深めることは防災や危機管理に有効。お祭りやお神輿のエリアごとに連携のイベントを区も率先して促進すべきと思う。（70 歳代以上）

教育

〈学校教育の質向上に関すること〉

- 学校の設備を新しくしてほしい。（小学生）
- 勉強を、楽しめるようにしてほしい。（小学生）
- 公教育の改善（1学級あたりの定員削減や部活指導の外注、その他教育内容の充実）。（30歳代）
- 中学受験させなくてもいいと思えるような教育環境作ってほしいです。（30歳代）
- 魅力ある公立小学校・中学校をつくってほしい。（40歳代）
- 探究が中心となるこれからの学習において、フィールドワークや多様性、自主性を育む教育を展開してほしい。（40歳代）
- 学びの多様化学校の設置。（50歳代）
- 小学校、中学校の先生を増やし専門分野に優れた人材を増やしてほしい。（町会・自治会）

〈多様な学びの保障に関すること〉

- 修学旅行でもっといろんなところに行きたい。（小学生）
- 図書館がたくさんあって、本がたくさんあると嬉しいです。（小学生）
- 社会に出るまでの出会いや学びの機会をより増やしてもらえたら嬉しいです。具体的には有識者の話を見聞し、社会の現場の見学・体験、海外留学、子どもが一定期間を通じて学びを深められる自由研究のようなプログラムなどあったらいいと思います。（30歳代）
- スポーツができる場所を増やしてほしい。赤坂にバスケットボールのチームを作してほしいと子ども達や保護者からお願いされているが、活動できる場所がないので要望に応えられていない。（40歳代）
- テニスコート、ピククルボール等の生涯スポーツのコートを増やしてほしいです。（60歳代）
- その子を中心に学び育ちをサポートできる体制を整えていくべき。たとえば不登校の問題は学校と教育委員会が抱え込むのではなく、区内にあるフリースクールや不登校親の会など、民間の社会資源を活用しながら、みんなで解決をはかっていく必要がある。（70歳代以上）

〈国際・多文化・先端教育に関すること〉

- 誰にでも差別をしないこと。（小学生）
- 高校生や中学生の留学費用や留学先も多く準備し（ないしは誘致交流できる場を設け）、港区の国際化を進めてほしいです。教育はこの先を決める大事なものかと思います。（30歳代）

- 教育の国際化を推進してほしい。小学 6 年生だけでなく 5 年生からもオーストラリアに行けるようにしてほしい。ケンブリッジ英検やケンブリッジ国際カリキュラムなど、世界基準の教育を取り入れてほしい。（30 歳代）
- 実践的な英語教育。日本人は英語が出来たら世界でもっと活躍できる。成長した後に港区に戻ってきて起業したり居住したりして納税で回収できる可能性もあるので、お願いしたい。（40 歳代）
- インクルーシブ教育を推進してほしい。自分の考えを言語化する機会を増やし、対話による解決を図る文化を醸成するための教育内容にしてほしい。（50 歳代）
- これからの時代のグローバル人材を育成するためのプログラムを充実させてほしい。（60 歳代）

行政経営

〈行政DX・手続改革に関すること〉

- AI を駆使して、お役所の仕事は可能な限りDX化を図る。（30 歳代）
- 時間をとって役所に行くのが大変なので、すべての手続を申請から通知までオンライン上で完結してほしい。（30 歳代）
- 支援が必要な人に自動的に届く仕組みの実現を期待します。マイナンバー等のデジタル基盤を活用し、申請を前提とせず、手続きの負担や見逃しが無い制度設計を進めることで、利用者・行政双方の効率化と公平性の向上を図ってほしいです。（40 歳代）
- 窓口のデジタル化や行政サービスの効率化を推進してほしい。（70 歳代以上）

〈組織運営・サービス品質に関すること〉

- 区役所と支所において、一貫性のないアナウンスや属人的な業務体系で区民が困惑し、クレームにも繋がっていると日々感じます。区役所で出来ること、支所で出来ることをもっと明確化し、発信するべきではないかと思います。（40 歳代）
- 支所の教室やホールの利用者は、厳しく在住区民及び在勤者のみにしてほしい。実際、利用サークルやグループが港区区外の人ばかりで、代表者だけが港区民であればいいというのは区民が利用できないので、いきいきプラザのように、利用メンバーを登録制にしてほしい。（60 歳代）
- 港区役所各担当部署各担当者がその転部までの 3～4 年間で担うには勉強不足。限界なら専門知識、昔と今を精査、これから先の計画立て直しなど、新しく調査検討できる人材、組織が必要。（60 歳代）
- 若手と中堅職員と、女性の活躍の場を広げてほしい。（NP0 法人）

〈透明性・公平性・説明責任に関すること〉

- 複数年かけて、例えば助成の条件となる居住期間を現行より延長することや、不正利用防止のための確認体制を強化することを推進してください。(30 歳代)
- 委託事業についても結果やトラブル、改善の効果測定を行い周知することが必要だと思う。(50 歳代)
- もっと職員が街へ出て行き区民と対話し区民の声が届く区政運営をすべきと考える。そのためには区長自らが街へ出て区民と直接対話してほしい。(50 歳代)

付録 アンケート用紙

Q1	アンケートにご回答いただいている立場を教えてください。※1つ選択	
	☐ 個人（区内在住者・在学者・在勤者）	☐ 団体（法人、個人事業主、任意団体等）
Q2	【Q1で「個人」を選択した場合】 あなたの年齢を教えてください。 （例：〇歳）	【Q1で「団体」を選択した場合 ※1つ選択 貴団体の種別を教えてください。 ☐町会・自治会 ☐商店会 ☐民間企業 ☐個人事業主 ☐NPO法人 ☐一般社団法人・一般財団法人 ☐社会福祉法人 ☐医療法人 ☐学校法人・教育機関 ☐官公庁 ☐その他任意団体
Q3	あなたの現在の状況を教えてください。 ※複数選択可 ☐在住 ☐在勤 ☐在学	貴団体の名称を教えてください。 （例：〇町会、株式会社〇、社会福祉法人〇 等）
Q4	【Q3で「在住」を選択した場合】※一つ選択 港区にお住まいになって何年か教えてください。 ☐3年未満 ☐3～4年 ☐5～9年 ☐10～19年未満 ☐20年以上	Q5へ
Q5	2040年代の将来像の実現に向け、今後、区が特に力を入れるべきだと考える分野を一つ教えてください。※1つ選択 ☐子ども・子育て ☐福祉・保健 ☐街づくり ☐環境・リサイクル ☐防災・危機管理 ☐産業・地域振興 ☐教育 ☐行政経営（窓口のデジタル化や行政サービスの効率化など区役所運営に関すること）	
Q6	「MINATOビジョン」は2040年代の将来を見据えた計画になります。Q5で選択した分野について、2040年代を見据え、区に取り組んでほしいことがあれば教えてください。 （例：〇〇を増やしてほしい、〇〇を新しくしてほしい、〇〇を進めてほしい等）	

MINATOビジョン策定に向けた 区民・団体アンケート報告書

刊行物発行番号 2026117-5811

【編集・発行】港区企画経営部企画課

〒105-8511 港区芝公園一丁目5番25号
03(3578)2111(代表)
